

二万円計画に着手するといふこと
め取りあります今年度の予算として
五千万円計上したのですが…
工事に当たる同工事と務所で、
「測量をしてはいられない。路
を変更しないといわれても今で
どうにもならない。ひのまへ
は舗工もできない…」と頭
痛めている。

本年度予算五千万円、大あくび

二十六年計画に着手することとなりました。め取りあがめ、今年度の予算として五百五万円計上したのですが、工事に当たる同工事々務所で、「測量をしないといけない。路盤を変更しないわけでもない。どういふことかな。このまゝは藉手ができない」と頭痛でござります。

○…おほいの問題を説明する前に、現在の路と違った国領の時代を通じて、焼け残った市内に一本の主要道路を建設することになり、「尼子橋のカーブ」の地点（現国領の内郷町と平市の境界線）に沿って、長い長崎町（境内）から東北へ中員二十尺の道路を建設しました。この事業も昭和十八年春まで途切れて、やっと長崎町一・税務署平署一ロードアーチーを経て、東北合境草野線であり、来年度には一級国道に編入される予定の道路である。その後は平市が本筋で、市計画で鐵道より南の千百メートルを建設、平土木事務所が県の事業として、昨年度は三十メートル道路のロードアーチーから大町の若松病院前まで舗装するといふ間に、平三不の歩道の改良工事を通じ、舗装待ちばかり今までに漕ぎつけた。この間平土木事務所と平市計画課が協力して、取り組んで

それでいた鎌田地区の「梗と華」。川面四ヶ所付近の民家、店舗は、町を今春までに全部移転を終ったが、この移転問題も「替え地の条件が悪いから」といはれてなかなか折り合はず、新鎌田橋建設費として見込まれるはずだった昨年度の予算は、ついにオシャンになつて、新鎌田橋建設は裏井川の水とともに流れ去ってしまったお情ない状態だった。

良工事を始め、國が乗り出しがれの翌三十年。まず松並木た道路の松を切り倒して造水田より、一二尺高くして広げた。この工事も熊野神から着工して北上し、上神谷内は三十一年、中神谷内十二年、下神谷内が三十二年に完成し、神谷鑿削前のアーチト舖装は、新國道が走る所での暫定措置として三十五年に鋪設されたものだ。これで鎌田から夏井川へを架設し、熊野神社前を通八百尺をより結ぶが問題だった。というのは理由鎌田川いわれる山が大きな障害となつたからである。山の右端にさ端に源流す、西端に五箇神社

当公認練習所卒業生は学科試験も平て出来 直線コース拡張完成

自動車練習所

肉鄉東小賣店(原孟標館) 甲子年 1948.6



